



(CLUB OFFICE) 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎(075)231-4388



今月の聖句

『そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。』
テモテへの手紙 1 第2章 1 節

会長/山田英樹
副会長/大門和彦
金原弘明
書記/香山章治
山口雅也
会計/内田雅彦

クラブ主題

It's Coming ~ 時が満ち、新たなムーブメント ~

国際主題: IP 藤井寛敏 (東京江東)

“Once More We Stand” 「心新たに立ち上がろう」 “Build a Bridge to the Future.” 「明日への橋を架けよう」

アジア主題: AP 高田一彦 (横浜)

“Once More We Stand” 「心新たに立ち上がろう」 “Realization of World Peace through Y's Activities.” 「世界平和をワイスの手で」

西日本区主題: RD 仁科保雄 (京都キャピタル)

「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」 “Forward with Y's men's spirit in our hearts.”

京都部主題: DG 阪田民明 (京都グローバル) 「ワイスビジョンを、思いやりと共に」 ~世界のワイスが輪になって~

メネット主題: RSD 坂本千春 (大阪センチニアル) 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~ Let's go back to the start point.



最高のクラブで ありがとう

会長 山田英樹

いよいよ激動の一年間も残すところ1か月となりました。いつもならばもう来期に向かいゆとりを持って事にあたれるのですが、今期はまだまだ気の抜けない日々が続きます。

私達を取り巻く社会情勢が大きなうねりを見せる中、例年にも増してクラブ運営にご協力ご尽力を賜りまして本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

会長を拝命した瞬間から覚悟はしていたつもりでしたが本当に嵐のような一年間でした。ホストクラブの会長というものが、かくも重いものだとは……。残念ながら今はまだ一年間を振り返る余裕も時間もありませんが、時が満ち その時 (Its Coming) を迎えたのち、ゆっくりと感慨に浸りたいと思います。この一年間クラブを代表して京都部へそしてYMCAへ、は

たまた西日本区の他クラブへ参加して、多くの方との交流を深める事が出来ました。本当にみなさんワイズメンらしく、人格的にもクラブとしても、そしてボランティアに対する思いも素晴らしい一言です。

ただ、そんな時に必ずいつも感じるのが『やっぱりキャピタルクラブが最高』という事なのです。組織運営のお手本のようなバランス、個々のメンバーのウィルとスキルの奥深さ、なにより楽しむ事へのこだわり。どれをとっても最高としか言いようがありません。

そんな素敵クラブの中で親愛なるメンバー・メネットの皆様にお支え頂き、西日本区大会ホストクラブ会長という身に余る環境を与えていただきました事、心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次期は八木会長の元、新たなムーブメントが沸き起こる事と確信しています。脈々と流れるキャピタルスピリットをキャピタルの歴史上最も若い会長が引継ぎ、そして昇華させてゆく。なんてかっこいいクラブなのでしょう。そんなかっこいいクラブをこれからも皆様とともに支えていきたいと思えます。メンバーの皆様、メネットの皆様、かけがえのない幸せな一年間、本当にありがとうございました。そして今後とも末長くよろしくお願いいたします。

聖句の解説

キリスト教は祈りの宗教といわれます。「願いと祈りと執り成しと感謝」という四種類の表現は、教会の祈りがあらゆる機会に、あらゆる表現で広く行われるべきであることを示しています。また、「すべての人々のために」祈りなさいとも言われています。祈りとは、神さまとの交わりの時です。祈らないキリスト教は考えられません。おそらく皆様も祈っておられると思います。ただ自分のことばかりの祈りになってしまうように注意しなければなりません。私たちのまわりには、苦しんでいる人たちもたくさんいます。その人たちのためにも祈ることです。

でもそれ以上にすべての人のために祈ることです。一般人、平凡な一人一人のために、家族のために祝福を祈るのです。さらにあらゆる指導者のためにも。そして願っているのに、それ以外のことは何もしないならば、充分ではありません。祈ると共に、実行しなさいということです。その時わたしたちが語る言葉、行いは真実なものでなければなりません。偽りを語ってはならないのです。祈りはわたしたちを必ず強くしてくれます。

西日本区
強調月間

6月 評価・計画

すべての事業について評価される結果を残し、更なる発展を次期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る。

仁科保雄理事 (京都キャピタルクラブ)

年間強調
目標PR

景気低迷の今、求められるのはワイズ精神。一人でも多くの人に例会や催しに誘い楽しいクラブ、明るく元気なワイズメンを紹介しクラブリーフレットや名刺などあらゆる手段でアピールしましょう。 中原一晃広 報事業主任 (京都ウエストクラブ)

5
月
報
告



例会出席

在籍者数 37名
第一例会 31名
メネット 7名
第二例会 33名
メネット 3名
ゲスト 17名
出席率 97.29%



BFポイント

切手 0g
現金 0円
切手交換 0円
累計現金 0円
J W F 0円
E F 0ドル



ニコニコ

第一例会 0円
第二例会 0円
累計 349,500円



ファンド

0円
累計 739,595円



献血

献血成分累計 400cc
成分累計 0名



125周年
募金

第一例会 0円
第二例会 0円
今期累計 68,239円
累計 469,866円

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

5月第一例会 2011年5月13日(金) 19:00~21:00
京都ガーデンパレス

第7回 CATT 合同例会

柳 慎 司

5月恒例となる、4クラブ合同例会も7回目となり今年は東稜クラブがホストをして頂きました。「東日本大震災」後と言う事もあり、例会では乾杯酒席・アトラクションを無くし、粛々と行われました。

4クラブ会長の開会点鐘から始まり、三科会長のご挨拶・ゲスト、ビジター紹介 トップスクラブより今期入会者8名の紹介もあり、残り3クラブも驚きの表情でした。親クラブである我がキャピタルも順調に会員増強となっておりますが流石はトップスクラブ……今期新山 EMC 主任・川原 EMC 主査の輩出です。また、東稜クラブより1名の入会式が行われました。いつ観ても入会式はいいものです、初心に帰るといふか、自分自身の入会式を思い出し、驕りは無いのか、もっともっと YMCA・クラブの為にいや、何より自己研鑽になっているかと自身に問い質す事となりました。

神崎総主事より、仙台・盛岡 YMCA の震災支援情報の報告を頂き、食前感謝を述べられました。同席にて、神崎様にお聞きしました。報道などで我々も「ガレキの山」とか「ガレキの撤去」と言いますが、あれは「ガレキ」ではありません。被災者の方達にとっては、大切な家具・家財……大切な思い出です。皆様、決して現地では軽々しく「ガレキ……」と思わず、言わないようにしましょう。

今回は中桐万里子様による、「七代目が語る 二宮金次郎の知恵と実践力」と題して、ご講演を頂きました。誰もが小学校で見て知っているあの柴を担いで本を読んでる銅像・勤労しながら勉強をする二宮尊徳のお話しです。

しかし、七代目が語る二宮尊徳の実像は少し違う事がよくわかる、貴重な講演となりました。

例会のホストを頂きました東稜クラブの皆様、有難うご座いました。そして何より「CATT メンバーの皆様、第14回西日本区大会ホストのご協力を宜しくお願い致します。」



第14回パープル会

吉 井 崇 人

5月4日(水)日清都カントリークラブにてパープル会が行われました。天候にも恵まれ気持ちの良いゴルフ日よりでした。

前日に無理を言って参加させて頂いたにも関わらず快諾して頂き、本当に楽しい一日が過ごせました。

ハンディーキャップが36もあったおかげで、優勝する事が出来ました。

ゴルフの後は、こっぴりさんでおいしい食事とお酒を頂きながら西日本区大会・京都キャピタルクラブについて語り合い熱い夜が更けて行きました。



皆さんお店から出られる際には、足元フラフラ、ペロペロに酔って帰って行かれてのが凄く印象的で、楽しいクラブに入れて良かったな一と思う瞬間でした。

また、参加したいと思います。

5月第二例会 2011年5月17日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

本番に向けて!!

田 中 升 啓

西日本区大会まで1ヶ月を切り、本番を想定して、例会1時間前からリハーサル例会が行われました。石倉実行委員長と金原運営委員長の指揮のもと、バナーセレモニーをはじめ、式典と懇親会の手順が確認されていきました。

やはりやってみないと分からないことが多くあるものです。壇上にも上ってもらうタイミングや、照明の当たり方、マーシャルの動きや着席してもらうタイミング等……。

しかし、各チームリーダーの的確な指示で1つ1つクリアできていきました。本当に長い間準備を進めてきましたが、後はメンバー全員自信を持って、一丸となって本番に臨むのみです。

私が入会した時に行われました、25周年例会の時も「すごいことするなあ」と思いましたが、今回はもっとすごいです。もうこの原稿が載るころにはやるべき事は全てやりつくしているはずですので、後は当日を楽しみながら成功させましょう!!!

今日迄の委員会の動き

実行委員会	16回(準備検討会 1回)
総務委員会	10回
記録委員会	1回
財務委員会	14回
渉外委員会	11回
広報委員会	7回
エクスカッション委員会	1回
大会運営委員会	12回
オープン委員会	4回
大会運営委員会(式典チーム)	9回
懇親会チーム	7回

第7回 京都 YMCA かもがわチャリティーラン

西 村 融 正

5月22日(日)鴨川公園にて開催されました。キャピタルは、飲み物屋台での協力となりました。

残念ながら、今年は大雨のため競技種目はクォーターマラソン(中学生以上個人10.5km)のみ行われました。しかしその後、雨も上がり、お楽しみ大抽選会は非常に盛り上がりました!

来年はよい天気にも恵まれますように。

参加者:石倉 石村 大山(孜)
大山(謙) 岡本 香山 亀井
瀬本 竹田 田中(升) 田中
(升)コメット 西川 西村
森(繁) 柳 山田(英) 柳
メネット



メネット懇親会

山 田 と も 子

2011年5月29日(日)、台風が接近している大雨の中、梅の花伏見店でメネット懇親会を開催しました。

2週間後の西日本区大会の事を中心にメネット15人・メンバー1人・コメット2人の総勢18人と大盛況の中、お豆腐会席をいただきました。

出席者:石倉・内田・内廣・岡本・勝山・香山・菅原・仁科・柳・山口(重)・山口(弘)・山田(ま)・ダルマ・山田(と)・八木次期会長・八木(未)次期メネット会長・八木コメット2人



HOP STEP JUMP ー私が入会した動機(時)、そして今ー

歩み出した小さな一歩

亀井久照

昨年4月20日にゲスト例会に出席させていただき、はや1年が過ぎました。

知らない方々とお話したりすることが極端に苦手で、ましてや大勢の人前で話をするなど全く出来ない私にとってはとても苦痛でした。しかし、その半面では何とか苦手意識を克服しなければいけないと思っている自分自身も感じていました。また、クラブには仕事に関しても人の上に立つ人ばかりなので、私もそうなれるのではないかと思い、入会を決めました。

最初は握手したりすることに慣れず、とても違和感がありましたが、皆さんに温かく迎えていただいているという安心感はとても感じていました。

何事も継続することが苦手の私は、まず1年間例会は絶対に休まないという目標を決めていました。今期も残すところ、西日本区大会を除くと、ついに引き継ぎ例会一回となり、なんとか達成出来そうです(諸先輩がたの足元も及びませんが……)。私にとっては、「やろうと思えば出来るんや」という不思議な感じで、忙しいというのは言い訳だったなと思っています。

最近、会議等に出席させていただいて思うのですが、メンバーの皆様の物事の考え方や進め方など、とても立派で私には到底真似出来ないと感じています。私にとっては自己研鑽どころか自己嫌悪に陥っています。しかし、「立派な人とは……？」自分の心のモノサシが変わってきたように思います。

何事も基本を忘れず頑張らねばと思います。何年後かに、ホップ、ステップ、ジャンプして、もう一度この原稿を読んでみたいのです。

おもしろい会

幡南進

スポンサーの香山さんと、お仕事をご一緒させて頂く事が有りました。その度に「おもしろい会があるんや〜」「写真撮ったりな〜」「わいわいガヤガヤして」……

一年以上そう言う短いフレーズでキャピタルクラブの事を聞

いていました。最後の決めセリフは「きつと幡南さんの為になる」でした。

恐る恐る入会しましたが、初めは人前で一言も話せなかった私です。4年たった今では司会もさせて頂いています。まだまだジャンプには程遠いですが、私自身にとってはクラブのメンバーで居続けられる事を嬉しく思い、迎えて頂いたメンバーの皆様、又スポンサーの香山さんには本当に感謝しています。

一人親方のような建設会社から始った私にとっては、クラブ組織での仕組みやメンバーの皆様への熱い思い等が、仕事にも大きくプラスになっていると実感できます。

ジャンプのできる様な性格では無いですが、一つ一つの積み重ねを振り返って見たときに大きなジャンプが出来ていた事に気付く。そんな現在のステップが私にとっては大好きです。

ホップ ステップ ジャンプ

正子・ダルマパーラン

ワイズメネットになりましたのは岡本さんが当時、亡夫ダルマパーランが木屋町で営業しておりました店に来られて、お認め下さったご縁でパレスクラブに入会した時です。

主人は、会の主旨もわからず「沢山の方々と交流できるらしいよ」と、喜んで出席しておりました。程なくキャピタルクラブが誕生する事になりチャーターメンバーに。

心をゆるして付き合える人が少ない日本でワイズの存在は主人にとって構えず身がおける場所であり、自己研鑽の機会を与えてくれる友でもありました。

メネットは何する者ぞと家族参加の行事しか関わらなかった私ですが、仁科メネット事業主任のキャビネットとして、西日本区のクラブと一緒に訪れ知らなかったメネットさん達と気持ちを通わせる楽しさを味わいました。又、個人的な国際での繋がりがワイズの国際的な活動の一端にふれ、60年の人生、少女?の頃には考えもしなかった出会い、経験をこんなにも沢山出来た今を本当に幸せに思います。

キャピタルの力強いメン、メネットが増えられエネルギー感に出ると嬉しくなります。ワイズメネットとしては“ホップ〜ステップ”で止まっている感ですが、もう少し頑張らせて下さい。

神戸西クラブ 50周年・

大阪土佐堀クラブ 60周年記念祝会

岡本尚男

神戸西クラブは14日に神戸・三宮の雅叙園で、大阪土佐堀クラブは21日に大阪YMCAでそれぞれ祝会が持たれました。

両クラブの中には長いお付き合いのある方がおられ、ご丁寧なご案内も頂き参加致しました。どちらにも仁科理事がご参加されておられました。

神戸西クラブは、手入れの行き届いた庭園を背景にした会場と生のジャズバンドによるBGMを楽しみながら歓談しました。阪神淡路大震災を経験された中で、50周年を迎えられたことを神に感謝をされ、その時のワイズメンたちの支援に思いを馳せ、その時の体験から今日の東日本大震災には篤い心を寄せていくことが語られました。

大阪土佐堀クラブは、祝会を「東日本大震災支援トーク&ライブコンサート」に切り替えて、その入場料千円を日本YMCA同盟から被災地域で活動をしている仙台・盛岡YMCAに捧げるという、心配りのある祝会でした。

トークはイチローや松井秀喜のバット作りで脚光をあびている現代の名工・久保田五十一さんの、バットが出来上がるまでの苦勞と必要とされる樹木を育てる為の息の長い取り組みが、樹木の無駄を削減し環境にも良い影響を与えるというお話と、

和楽器、ピアノ、おどりのコラボレーションのライブコンサートは、一般の方の参加もあって盛会でした。

その後、席を移して関係者ばかりのこじんまりとした祝会は、出演者、かつてのクラブ在籍者や私を含めて深い縁に繋がっている方ばかりの楽しいひと時でした。

★ 掲示版 ★

おめでとう

・終の住み処が完成し、4月に引越しました。少しですが畑ができましたので自家製野菜作りを頑張りたいと思います。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

京都市左京区一乗寺東水千町 23-7
TEL 075-201-7848
FAX 075-201-7083
香山章治



・大山謙一さんが正会員に5月28日の京都YMCA定期総会で紹介されました。

▶▶ HAPPY BIRTHDAY ◀◀

メンバー		
山田 英樹	6月14日	
瀬本 純夫	6月17日	
幡南 進	6月23日	
八木 悠祐	6月29日	
金田 英二	6月25日	
メネット		
田中 淳子	6月8日	
大山 悠子	6月11日	
コメント		
石村 拓也	6月3日	
竹田 悠佑	6月4日	
石倉 京	6月12日	

▶▶ HAPPY ANNIVERSARY ◀◀

倉見 直樹・享子ご夫妻	6月1日
長谷川幸昌・絵理ご夫妻	6月3日
田中 雅博・淳子ご夫妻	6月4日
安部 英彦・智子ご夫妻	6月17日

FMシステム

オーディオ (補聴器専門誌 No.9号)



院長の大山政郎さん。背後の壁に掛けられたキルトは、開設20周年の記念に難聴児の親たちが手作りしたもの
Dr. Ooyama Shiro, Director of Ooyama Clinic. Behind him there is a quilt made by parents of hearing impaired children for the celebration of 20th anniversary of the clinic.

■大人になった難聴児の悩み相談をきっかけに

補聴器を使っても、話し手の間に距離がある場合や、ザワザワとしたレストランなどでは相手の声が聞き取りにくい場合がある。そんな時に便利なのがFMシステムだ。話し手の声を送信機のマイクで捉え、FM電波によって難聴者の受信機に送信するため、はっきりと聞き取ることができる。2007年の電波法改正で、補聴器のために169MHzが割り当てられ、より速くまで、安定した電波が届くようになった。

今回の報告を行った大山政郎院長は難聴が専門で、早くからFMシステムの普及に力を入れてきた。2001年1月から2010年6月までの約9年間で、同システムのフィッティングを行ったのは64名。そのうち53名が学校での利用で、11名が職場や家庭などで利用する成人のユーザーだ。さらに成人ユーザーのほとんどは、大山さんが子どもの頃から診てきた小児難聴の人たちである。

成長して社会に出た彼らが、大山さんに悩みを訴えた。「会議や同僚と飲みに行った時に、補聴器では十分聞き取れない場合がある。どうしたらいいだろう?」「それなら教育現場で活用されているFM補聴器を使ったらどうか?」とアドバイスしたのが、成人のFMシステム活用に着目したきっかけという。

実際に、成人ではどのように活用されているのか、同医院が発表した事例を紹介しよう。

■職場、家庭などでの活用事例

1. 窓口業務での利用

役所で窓口業務をしている難聴者のケースでは、窓口を訪れる人に送信機のマイクを持ってもらって対応している。オープンフロアの場合は特に、FMシステムの利用によって、聞こえにくさが改善する。

2. 会議での利用

大学で秘書業務をしている女性は、会議の際、円卓の中央にマイクを置いたり、発言者にマイクを持ってもらって会議の内容を把握している。また、上司に指示を仰ぐ際にも利用する。FMシステムを利用することで、普段忘れられがちな難聴者への配慮を意識してもらうことにもつながっている。

ちよこっくと有名人 ⑥

業界や地域で活躍されておられるメンバー紹介

- 仁科メネット
- ・松井陽子さん入会の件
- <各事業委員会報告>
- ・Yサ・ユース 鴨川チャリティーラン 雨のため飲み物残る。メンバーにて買い取りする。
- ・地域奉仕・環境 特になし
- ・ドライバー委員会 CATT 合同例会会計報告。4クラブ合同にて148,325円を東日本大震災復興募金(京都YMCA)へ寄贈する。
- ・交流 西日本区大会時のIBC・DBCについて IBC 7名 DBC10名となる。
- ・ファンド 今期739,595円を達成。目標80万に60,405円不足
- ・広報 次期への引き継ぎ事項の報告
- ・EMC 6/1 7時~ 松井陽子さんのオリエンテーション開催。引継ぎ例会にて入会式を予定中。
- <審議事項> 特になし
- <その他>
- 松井さん入会オリエンテーションの内容について
- 次回三役会 2011年6月16日(木)19時~
- 次回役員会 2011年6月21日(火)19時~

第2回 次期役員会議事録

2011年5月10日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<YMCA 報告>

- ・リトセン夏の準備ワーク 2011年6月26日(日)→報告

<議 題>

- ・事業計画案の検討→検討
- Yサ わんぱくチャレンジクラブ11月27日に予定
- リトセン夏の準備ワークにて昼食準備を予定(予算30,000円追加)
- 地域奉仕 今期事業のペットボトルキャップ及びプルタブを集める件を継続事業とするか検討
- ドライバー メタセコイヤフェスティバルを例会扱いとしない。
- ファンド例会の開催予定に組み込む。
- 持ち出し例会の予算を検討する。
- ・予算案の検討→検討の後、再度立案する。
- ・年間スケジュール案の確認
- 他クラブへ連絡(予算含め、会長より)
- CATT例会日程変更→CATT例会を3/17に開催予定とする。

<その他>

- ・委員会報告及び事業計画案(修正)を、次回の次期三役会前日までに吉井次期書記宛に提出。

第3回次期役員会(今期と合同) 6月21日(火) 19:00~

場所: ウェスティン都ホテル京都 竹の間

第4回次期三役会 6月16日(木) 19:00~

第11回 役員会議事録

2011年5月24日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

西日本区 ・西日本区大会登録状況 944名(5/23時点)
京都部 ・第4回評議会 6月19日(日) 午前10時~
YMCA

- ・かがわチャリティーラン 5月22日(日)
- ・東日本大震災 街頭募金 6月5日(日)
- 三 役
- ・東日本区大会参加 6月4日(土)~5日(日) 長野松本市
出席: 岡本・田中(雅)・山田(隆)・山田(英)・仁科理事・

仁科西日本区理事活動記録

- 5月6日 第14回西日本区大会リハーサル
- 5月8日 神戸YMCA創立125周年記念式典
- 5月14日 神戸西クラブ50周年記念例会
- 5月21日 大阪土佐堀クラブ60周年記念例会
- 5月25日 京都パレスクラブ例会訪問
- 5月28日 岩国みなみクラブチャーターナイト

編集後記にかえて

個性豊かなメンバーに支えられたブリテン

ブリテン事業委員長 大山 謙一

「話すこと」「書くこと」「頼むこと」が苦手な私が、言葉・文字が集約されたブリテン作りの大役を仰せつかることになろうとは……。皆さん上手に書いてはるなあと、文章って個性ができるなあと、感心しながら読んでいたとはいえ半ば人ごとのように読んでいたブリテン。

そんなブリテンに、今まで通り写真は多く載せて華やかに。クラブ内外の情報を多く。西日本区大会関連の記事や囲み記事の充実。そして、会長主題に基づいた「ホップ・ステップ・ジャンプ」と題したコラムは、時が満ちて入会した時、そして今どう感じているか。さらにこれから何を期待するかをテーマにあげました。お一人おひとりが入会された動機、個々に感じられる思い、考え、望み、決意などが垣間見える記事となるように、充実した読み応えのある紙面づくりを目指して参りました。

例会や各種事業の報告であっても個性豊かなキラッと光る原稿が集約されたブリテンの作成には、目に見えない時間と労力が注がれていることを、改めて知りました。原稿依頼、編集、校正……多くの人の支えがあり、思いが込められて出来上がるブリテンの作成に携わることができたことに心から感謝しています。

「話すこと」「書くこと」「頼むこと」が皆さまのお陰で、少しは克服(?)できたのではないかと考えています。

次期の西村委員長に今まで学んだことをしっかりと引き継ぎ、今期の最後をしめくくれるように精進して参りたいと思っております。

本当にありがとうございます。心から感謝です。

